

おはようございます。4月の『未来へ！師木野「しあわせ総会」』では、
たくさんの方に参加していただきありがとうございました。

私たちは、毎日勉強や運動をがんばっています。そして楽しく学校生活を送っています。これも、地域の皆さんの支えがあるからだと思っています。その思いを強くしたのは、3年前に校長先生から、学校運営協議会の役割やコミュニティ・スクールの仕組みを教えていただいたからです。

今年度は、新1年生が入ってこないで、全校児童が12人になってしまいました。地域住民の数も減っていると聞きました。私たちは、この学校や師木野でこれからも楽しく生活したいなと思っています。地域の人も、いつまでも、いつでも師木野で不便なく、幸せいっぱいに住みたいなと思っているはずです。そこで、ふるさと師木野の幸せを願って、私たちにできることはないか、そして、地域の皆さんと一緒にできることはないかを考えたいと思いました。

そこで、4月の「しあわせ総会」や5月の全校朝会で話し合ったことを発表します。

①まず、師木野のよいところや残したいものなどを話し合いました。きれいな川、たくさんの動物や植物など豊かな自然、昔から残る文化財、優しい人、交通の便、楽しい学校などができました。

②次に、問題やあったらいいなと思うものです。あがってきたのは、子どもや人口が減っている、お年寄りが増えている、空き家が目立つです。また、スーパーやアパートなど買い物ができるところや住むところ、遊園地や動物園など遊ぶところがほしいなどがありました。

③そして、師木野のよさをいかし、問題を解決するために、自分たちにできることを話し合いました。これについては、後に詳しく話します。これから心配だなと思うことは、児童や地域の人数がどんどん減っていくこと、行事がなくなる、自然がよごれそう、地域の元気が無くなりそうなどが出ました。

5月に入って、全校児童で自分たちにできることを話し合いました。大きく分けて4つあります。

1つ目は、豊かな自然を守るためにすることは、まず自然とふれあって自然の素晴らしさを感じることです。また、ゴミを捨てないとか、地域のボランティア活動に進んで参加することです。

2つ目は、師木野に人を呼ぶことです。みんなが来たくなくなるようなわくわくする学校をつくること、そのために、空き家を住めるようにする、来たい人と交流できる活動をつくる、このような活動や情報をホームページで紹介するです。空き家は地域の人に、ホームページはおうちの

人をお願いしたいなと思います。

3つ目は、楽しめる場所をつくるです。動物園や遊園地がないのなら、師木野にあるもので楽しむ方法を考えます。たとえば、ホタルやカジカガエル、川など身近な生き物や自然とふれあい大切にする、千体仏や神社など近くにある古い物に関心をもつことで、まちじゅう動物園や遊園地みたいな感じになると思います。川のそばにきれいな花や桜の木があったら、もっと楽しいだろうなと思います。

4つ目は、みんな元気であるために、私たちが挨拶を進んでしたり、学校でがんばっている姿を見せたりするです。地域のお手伝いもして、私たち小・中学生が進んで地域とふれあいをもったらいいと思います。

これからも師木野が幸せいっぱいになることを願って、できることをしていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。